



あっぱれ!  
「納豆」の底力



体の応援団



目黒川デパート  
佐藤食品工業有限会社  
〒299-2514 鹿児島県日置郡伊集院町中川  
TEL (代) 099-273-5  
FAX 099-273-5

小売致します

の応援団!

納豆で元気いっぱい!  
毎日、食べてください。  
買いだめ下さいませ。  
099-273-5

佐藤食品工業有限会社  
代表取締役  
佐藤 眞一郎さん

今号の表紙



全国納豆鑑評会で特別賞の「九州農政局長賞」を受賞した『鹿児島大粒納豆』

佐藤食品工業有限会社

代表取締役 佐藤 眞一郎

<企業概要>

所在地 日置市伊集院町中川1019-1  
 設立 1966年12月 (創業1954年)  
 従業員数 30名  
 事業内容 納豆製造販売  
 TEL 099-273-9039  
 FAX 099-273-9005  
 URL <http://www.hinodekko.com/>  
 E-mail sato@natto.ne.jp

今号の表紙は、薩摩半島の中央部に位置し豊かな自然に囲まれた日置市伊集院町で、日本人の食卓に欠かせない納豆を製造販売している佐藤食品工業有限会社の代表取締役 佐藤眞一郎さんです。

同社の創業は1954年、佐藤社長の父・總一郎氏がそれまで携わってきた医療関連の技術関係の仕事に区切りをつけ、「ただ納豆が好きで自分で作って食べたい」という思いから納豆製造の世界へ飛び込みました。当時の鹿児島では納豆を食べる習慣もないなか、鹿児島市下竜尾町の自宅の一部を改装した家内工業から始まりましたが、徐々に生産量を増やし、1964年には下伊敷町に工場を移転、1966年に現社名で法人設立、1997年には眞一郎氏が代表取締役に就任しました。

それまでは手作業がほとんどでしたが、発泡スチロール容器の登場などで製造工程の機械化が進み下伊敷町の工場が手狭になり、1989年に現在地に本社および工場を新設移転、順調に業績を伸ばしています。

工場では、主に大粒・小粒・ひきわり納豆などの自社商品や生協のPB商品を製造し、九州内の生協・スーパー等で販売しています。

最近は免疫力を高めると話題になり、家庭用向けの需要が増えています。

◇お客様の『おいしいね!』を励みに

同社の納豆は、蒸煮した大豆に納豆菌を吹きかけ、パック詰めしたものを約16時間かけて発酵させています。製造工程での環境や温度、湿度、発酵時間などで品質がぶれやすく、味を一定に保つために設備の清掃や消毒に心を配りながら、お客様の「おいしいね!」を励みに従業員の方々と日々努力されています。

当センターのカイゼンインストラクター指導のもと、衛生管理改善、再加工程ロス低減、廃棄ロス低減、作業効率改善、クレーム低減等のカイゼン活動にも積極的に取り組んでいます。

また、原料の大豆にもこだわり、今年2月に熊本市で開催された「全国納豆鑑評会」で鹿児島産大豆を100%使用した『鹿児島大粒納豆』で特別賞の九州農政局長賞を受賞しています。



◇今後の取組

「納豆業界は大手企業の寡占化が進んでおり、地場のメーカーにとっては厳しい状況でございますが、時代の変遷により淘汰されていく仕事があるなかで、この仕事はよいものを作っていけば買ってもらえるチャンスがある、よいものを出していけばお客様に手に取ってもらえるかと思っております。伊集院の地でおいしい納豆を作り、消費者に提供したいというのがすべてです。おいしい納豆があってこそこの企業だと思っています。」と、佐藤社長は語っておられます。



CONTENTS

2	今号の表紙
3	私の思い
4	経営相談所よろず支援拠点
5	特集 かがしま産業支援センター 令和2年度主要事業の紹介
11	わが社の輝く女性 鹿児島ケース株式会社 大坪 夏美さん
12	ベンチャープラザコーナー
15	かがしま産業支援センター組織・機構
16	広告

# 私の 思い



鹿児島大学 学長補佐 (社会連携担当)、  
産学・地域共創センター長/教授  
**高橋 省吾** (たかはし しょうご)

神奈川県出身。  
1984年東京工業大学総合理工学研究科修士課程を修了後、三菱電機株式会社に入社、研究開発部門を経て1992年知財部門に異動、1998年弁理士資格取得、同社筆頭弁理士、特許・意匠技術部長等を歴任。  
2014年社会人学生として横浜国立大学国際社会科学研究所博士課程を修了 (博士 (経営学))。  
2014年三菱電機(株)を早期退職、鹿児島大学知的財産部門長/教授としてIターン就職。  
2020年4月より現職。

## 「両利き」の産学連携を目指して

### 【鹿児島の魅力】

首都圏の企業から鹿児島大学 (鹿大) に転籍し、ちょうど6年が経ちました。学生に「鹿児島の魅力は？」と聞くと、皆「観光、食、歴史と文化」と答えます。でも、本当の鹿児島の良さ分かるのは、むしろ県外から移ってきた人たちではないでしょうか？ 自然の美しさ、温泉の泉質、魚介類の新鮮さ、芋焼酎の深み、文化の多様性……。鹿児島の人にとっては当たり前のことすべてが外部から来た者には衝撃といえるほど魅力的なのです。「この魅力をどう活用するか」がまさに鹿児島にとっての「地方創生」の一つであることは言うまでもありません。もちろん、鹿大も産学連携によりその一翼を担う取り組みを行っています。

### 【産学連携のジレンマ】

国立大学法人は政府からの運営交付金を主な財源としてきましたが、その交付金も漸減し産学連携による資金調達が強く求められています。その一方で、地方の大学の多くは政府が分類した「国立大学法人の三つの枠組み」のうち、「地域貢献型」に属することになり、地域との連携が一層重要になりました。ところが、産学連携により多額の研究資金を獲得しようとするれば大型の連携が必要になり、大型の連携に注力すれば地域企業との連携が疎かになるというジレンマに陥ります。

### 【両利きの経営】

経営の分野で、このようなジレンマを解決する手段として注目されているのが「両利きの経営」という考え方です。通常の企業には屋台骨となる成熟した事業があり、これを維持して収益を上げ

るための企業システムや組織文化が構築されています。一方、新規事業も育てたいのですが、新しい事業の“種”は価値観の異なる既存の企業システム内では育ち難いのです。そこで「両利きの経営」では、相互に矛盾する事業に対応できる組織の構築と運営を提唱しています。この考え方は、ジレンマを抱えた地方大学の産学連携にも当てはまると考えられます。

### 【鹿大の取り組み】

鹿大では、2018年度に地域社会の発展と活性化に貢献することを目指して、「南九州・南西諸島域共創機構」を設置し活動を開始しました。また、地域の金融機関の協力を得て、地域企業と大学をつなぐ「認定コーディネーター制度」を設けて着実に成果を上げています。大型の連携に関しては、本年度より「共同研究講座制度」を導入し、大学と企業等との共通の研究課題について、対等の立場で共同して優れた研究成果の創出を目指します。また、学内外の産学連携コーディネーター等を活用して、大型の産学連携を獲得する活動を進めています。性格の異なる両活動を同時に推進することはまさに「両利き」であり、これに対応する産学連携組織の構築と運営を目指す所存であります。



よろず支援拠点  
相談コーナー

個人事業主・中小企業・創業希望の皆さまへ！  
各分野で活躍中の専門家チームが無料で  
何度でもアドバイス、支援いたします！



よろず支援拠点は、個人事業主・中小企業・創業希望の皆さまへの経営支援体制強化の為、  
国(中小企業庁)が全国47都道府県に各1ヶ所設置。相談実績約15,000名(約30,000件)、お客様満足度95.6%  
(2019年11月満足度調査)を誇る無料相談所として約6年間の活動で多くの事業者さまをご支援させていただいています。  
新たな取り組みや鹿児島県内の支援機関との連携により更にパワーアップしたよろずにぜひ一度ご相談を！

チーフコーディネーター/食プロ  
**森友 伸和** [もりとも・のぶかず]

地域の素材をブラッシュアップする商品開発支援!食品の流通に関する販路支援!販路が広がるブランディング支援!失敗から学んだ経営支援!を得意としています。

▲ 専門分野: 販売先設定・商品開発・経営知識

サブチーフコーディネーター  
**山之江 清子** [やまのえ・きよこ]

情報産業、製造業での経営管理等の実務、事業譲渡の経験等より、経営改善支援を中心に、また女性の視点から、主に女性の創業支援を行います。

▲ 専門分野: 経営改善・創業・事業承継

コーディネーター/中小企業診断士  
**向江 隆行** [むかえ・たかゆき]

生産性向上、人材不足、労働環境の改善など地域経済の抱える課題解消へ向け、IT活用、人事制度構築、事業承継等の支援を行います。

▲ 専門分野: 販路開拓・事業計画策定・IT活用

コーディネーター/農業経営アドバイザー  
**川原 新一郎** [かわはら・しんいちろう]

15年間の政府系金融機関勤務(うち海外展開業務5年)を経て貿易会社を設立。経営支援(特に金融面)、創業支援、海外展開支援を行います。

▲ 専門分野: 経営改善・事業計画策定・海外展開・創業

コーディネーター/カラーコーディネーター  
**新地 美沙** [しんち・みさ]

印刷媒体を中心とした広告デザイン、Webと連動したプロモーション・販促企画、店頭・店舗販促(外観ファサード演出)など売上拡大に繋げる支援を行います。

▲ 専門分野: デザイン・ブランディング・POP

コーディネーター/インテリアコーディネーター  
**鎌田 香** [かまた・かおり]

商品開発の発案から、商品デザイン、広報戦略、販売戦略、店舗ディスプレイ、卸販売まで総合的にプロデュース。「入り口から出口まで」トータル支援を行います。

▲ 専門分野: ブランディング・商品開発・レイアウト改善

コーディネーター  
**松田 貴志** [まつた・たかし]

25年にわたるデザイナーとしての現役経験を活かし、ロゴや名刺、チラシ・ポスター・看板・パンフ・パッケージなど幅広くデザインについてのアドバイスをいたします。

▲ 専門分野: デザイン・イラスト・写真・書道POP

コーディネーター/県6次産業化プランナー  
**満留 隆一** [みつとめ・りゅういち]

SNSを利用した広報・販売・商品開発などを、より戦略的に考え、課題の本質を掘り起こし、解決に繋がる糸口となるようなアドバイスをいたします。

▲ 専門分野: 広報戦略・商品開発

コーディネーター  
**寶園 純一** [ほうその・じゅんいち]

事業者様の長所を活かしたアイデアで企画立案、商品開発、磨き上げ、伝わりやすいキャッチコピーや販路提案など仕事をより楽しめる形の支援を行います。

▲ 専門分野: ものづくり・広報戦略・商品デザイン

登録してね! お得な情報がいち早くゲットできる!

Instagram Facebook LINE

セミナー・事業者情報

おトクな情報発信

※SNSではいずれも予約受付は承っておりませんので、ご予約はお電話で!

サテライト Satellite	大隅よろず相談窓口	▶ 毎週火・金曜日(要予約)	▶ 鹿屋市産業支援センター	鹿屋市北田町3番3-23
	北薩よろず相談窓口	▶ 毎週木曜日(要予約)	▶ 川内商工会議所	薩摩川内市神田町3-25
	指宿地域よろず相談窓口	▶ 毎月第4金曜日(要予約)	▶ 指宿商工会議所	指宿市大牟礼1-15-13
	奄美大島よろず相談窓口	▶ 毎月1~2回(要予約)	▶ 奄美大島商工会議所	奄美市名瀬入舟町12-6

鹿児島県よろず支援拠点 Tel.099・219・3740 ✉ yorozu@kisc.or.jp

〒892・0821 鹿児島市名山町9番1号〔産業会館1階〕 / Fax.099・223・7117 / 営業時間 平日8:30~17:15



# かごしま産業支援センター 令和2年度主要事業の紹介

当財団では、令和2年3月に理事会、評議員会を開催し、令和2年度の事業計画を決定しました。概要は次のとおりです。

## 1 新事業創出等支援 190,134千円

コーディネーターによる総合的・先進的経営アドバイス、経営・技術専門家の派遣、創業者に対する助成、企業の新たなチャレンジを担える人材とのマッチングをサポートするなど、新事業の創出と新産業の育成を支援します。

### ・よろず支援拠点事業

中小企業等の売上拡大や経営改善等の様々な経営相談に応じるコーディネーターを設置し、課題解決に最適な手法を選択して支援

<支援内容>

#### 1 専門性の高い経営支援

売上拡大や経営改善などの経営課題の解決に向け、専門性の高い提案とフォローアップ実施

#### 2 地域の総合的な経営支援

他の支援機関との連携を強化し、適切な支援機関の紹介、相互連携の調整等を実施

#### 3 政策的な重要分野への対応と地域の支援機関の補完

ITを活用した生産性向上に向けた取組、事業承継、人手不足問題並びに他の支援機関による支援の実態やニーズを踏まえ、補完すべき分野について重点的に実施



《相談風景》

元年度実績	相談者数：3,379人、相談対応件数：6,511件
-------	---------------------------

### ・専門家派遣事業

中小企業等の様々な経営相談に対応して、専門家を派遣し診断助言を実施（1企業当たり年間8回程度）

元年度実績	8社（延べ56回派遣）
-------	-------------

### ・プッシュ型事業承継支援強化事業

承継コーディネーターを設置し、県と共に策定した事業承継支援戦略を実施

また、ブロックコーディネーターを設置し、事業承継診断の実施や、県が事務局となっている事業承継支援ネットワークが掘り起こした支援ニーズに対して、地域の専門家と連携して個別支援等を実施  
今年度から経営者保証コーディネーターを新たに設置し、事業承継に伴う経営者保証の解除を支援

元年度実績	相談件数：158件、専門家派遣：40社（126件）
-------	---------------------------

### ・中小製造業者創業・新分野進出等支援事業

創業や新分野進出、規模拡大に取り組む中小製造業者を総合的に支援

対象業種	自動車、電子、食品、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機関連産業
支援内容	経営計画の策定、経営計画の実施（試作・研究開発、人材育成、マーケティング・販路開拓、専門家の招へい）
助成率等	2/3以内又は1/2以内（限度額 支援内容により80～400万円）、助成期間 3年度以内
元年度実績	18件

主な実績



ZERO EGG ブラケット  
正式名称：歯列矯正用アタッチメント  
《キリシマ精工(株)：歯列矯正器具（ブラケット）》



装着例



① DRESS with VEGE



ほあつちゅうま



ほあじゆくら



ほもげもげ

《株粋家創房：県産食材を使用した食品》

・起業家スタートアップ支援事業

起業を通じた新たな雇用の創出や若者・女性の活躍の場の拡大、地域の活性化を図るため、卸売業、小売業、サービス業を起業予定の方、または起業後2年未満の方（令和2年4月1日時点において）を対象に、創業初期に要する経費の一部を助成

対象業種	卸売業、小売業、サービス業（一部対象外あり）
対象経費	店舗改装費、設備費、広報費、外注費、旅費等
補助率等	2/3以内（限度額 800千円）
対象地域	鹿児島県内全域
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者（30歳未満）、女性、県外からの移住者、過疎地域等で起業する方又は「鹿児島県ビジネスプランコンテスト」の受賞者には、採択に当たり一定の配慮を行います。</li> <li>・平成30年度又は令和元年度起業家スタートアップ支援事業による助成を受けた方は応募できません。</li> </ul>
元年度実績	40件

主な実績



（藍染屋）  
南さつま市：藍染商品製造小売



（esports studio KAGOSHIMA）  
鹿屋市：eスポーツカフェ



（Yadon Café 1-1）  
大島郡宇検村：カフェ&宿泊サービス

・プロフェッショナル人材戦略拠点事業

潜在的成長力の高い中堅・中小企業を中心に、新製品開発、新規販路開拓をはじめとした新たなチャレンジを積極的に促し、その実現を担うことのできる人材と企業とのマッチングをサポート

<支援内容>

- 1 「攻めの経営」への転換促進（意識喚起）
- 2 プロ（専門）人材雇用の決断促進（人材ニーズの具体化）
- 3 プロ（専門）人材とのマッチング支援（人材ニーズの取次）
- 4 フォローアップ

元年度実績	相談件数：251件、取次件数：199件、成約件数：96件
-------	------------------------------

主な実績



《鹿児島県プロフェッショナル人材求人相談会》

**2 戦略的産業振興支援 148,294千円**

自動車、電子、食品、新成長産業（環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ、航空機関連産業）に関する新技術等開発、食品関連の効率的で質の高い生産体制や輸出促進のための施設・機器等の整備などを支援します。

●重点業種研究開発支援事業

新技術、新製品の研究開発に要する経費の一部助成

対象業種	自動車、電子、環境・新エネルギー、健康・医療、バイオ関連産業、航空機関連産業
支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費など
助成率等	2/3以内（限度額 年400万円以内） 助成期間 2年度以内
元年度実績	5件

主な実績



《(有)重久盛一酢醸造場：「ざくろ甕酢」》



《(株)ビルメン鹿児島：研究対象の風力発電機》

◇新規事業◇

●食品関連産業「カイゼン」活動強化支援事業

食品関連企業に対して、カイゼン活動による質が高く効率的な生産現場作りをより一層推し進めることで、食品関連産業全体の資金・人材面等の経営資源への効果等を高め、さらなる新商品開発や販路開拓への取組につなげることで、経営革新や経営基盤の強化を支援

- 1 企業訪問による生産管理・カイゼンの助言
- 2 社内ゼミの開催支援

◇新規事業◇

●食品製造業海外認証取得支援（食品関連産業ネクストチャレンジ支援プロジェクト）

海外市場の求める食品安全規格に対応し、差別化を図ることで、世界に通用する県内食品製造業者の育成・強化を促進するため、海外展開に必要な国際的な規格の認証取得を目指す取り組みの経費の一部を助成

支援内容	専門家等の招へい、OJTの実施、OFF-JTの実施、認証取得に必要な設備・機器等の改修など
補助率等	1/2以内（補助上限額 100万円） 事業期間（事業開始日から令和3年2月末まで）

・**戦略的基盤技術高度化支援事業**

中小企業・小規模事業者が大学・公設試等と連携して行う、製品化につながる可能性の高い研究開発や試作品開発、その成果の販路開拓に係る取組等を一貫して支援する国の公募事業において、事業管理機関として、中小企業・小規模事業者による情報処理、精密加工等のものづくり基盤技術の向上を図る。

◇**新規事業**◇

・**輸出向けH A C C P等対応施設整備事業**

加工食品等の輸出拡大を図るため、食品製造事業者等が行う輸出先のニーズに対応したH A C C P等の基準を満たすために必要な施設等の整備に係る県の補助事業において、説明会や補助金交付に関する業務、事業進捗管理等の業務を行う。

**3 地域資源活用支援 1,000千円**

地域資源の活用や農林漁業と商工会の連携による新商品等の試作品開発・販路開拓等への助成により、新事業の創出等を支援します。

◇**新規事業**◇

・**魅力ある食品開発支援事業**

本県の地域資源である良質で豊富な農林水産物を活用し、機能性表示食品やハラル認証食品等に向けた付加価値の高い食品の研究開発や食品開発を支援

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額 100万円） 助成期間 単年度

**4 研究開発・技術支援 16,647千円**

A I ・ I o Tの活用や新技術・新製品開発及び外国出願等への助成、産学官の連携や大学等技術シーズのマッチングなどにより、研究開発や新たな技術向上を支援します。

◇**新規事業**◇

・**先端技術研究開発支援事業**

自社のアイデアや技術を活用し、①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、②A I ・ I o Tやロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等を支援

支援内容	原材料費、機械装置費、工具器具費、外注加工費、研究費、旅費
助成率等	2/3以内（限度額 200万円） 助成期間 単年度

・**中小企業等外国出願支援事業**

外国の特許出願等に要する経費の一部助成（特許、意匠・商標・実用新案、冒認対策商標）

支援内容	特許等の出願手数料、代理人費用、翻訳費用等
助成率等	1/2以内（限度額 1企業につき300万円、1出願につき30～150万円） 助成期間 単年度
元年度実績	7件（特許4件、商標3件）

・**かごしま産業技術賞事業**

鹿児島県内の企業等が原則として最近3年間（平成29年4月1日以降）に開発した新製品・新技術を公募し、そのうち特に優れたものを表彰

**5 マーケティング等支援 32,280千円**

新製品等の国内外への販路開拓、商談会の開催、県外展示会への出展支援、市場ニーズ調査結果の事業化等の支援を行うとともに、専門調査員の巡回、企業の登録・取引紹介あっせんなどにより、マーケティング等を支援します。



・ベンチャープラザ鹿児島「二水会」開催事業

ベンチャー企業に新製品・新技術等の発表の場を提供し、販路拡大等の取組を支援（年3回）

元年度実績	3回開催（県内企業8社発表、県外企業1社発表）
-------	-------------------------



《ベンチャープラザ鹿児島「二水会」》

◇新規事業◇

・新製品等販路拡大支援事業

県内中小企業者等が自ら開発した新商品・新製品の販路を拡大するため、国内で開催される商談会・展示会に参加し、または県外の取引先や商社等を県内に招へいし、商談会等を行う場合、その経費の一部を助成

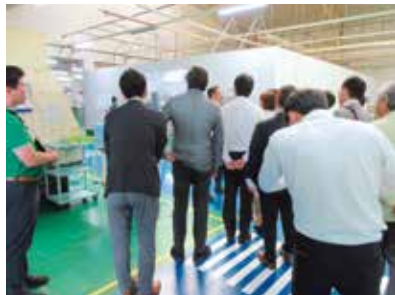
支援内容	1 国内で開催される商談会・展示会への出展に要する経費の一部を助成 2 県外の取引先や商社等を県内に招へいして行う商談会や工場見学に要する経費の一部を助成
助成率等	1 国内商談会出展助成 2/3以内（限度額 500千円）、助成期間 単年度 2 県外企業招へい商談会助成 2/3以内（限度額 300千円）、助成期間 単年度

・製造業海外取引支援事業

海外への取引拡大を図ろうとする県内製造業者を対象に、取引可能性調査（現地視察）等を実施し、新たな海外企業との取引を支援

元年度実績	取引可能性調査1回（フィリピン）
-------	------------------

主な実績



《取引可能性調査（フィリピン）》

◇新規事業◇

・取引あっせん強化推進事業（旧 ビジネスマッチング支援事業）

県外における新たな発注企業等の掘り起こしを積極的に行い、県内受注企業との商談会等を開催するほか、メーリングリスト等による効率的な取引情報の受発信により、新規販路開拓を支援

（かごしま取引商談会令和3年1月頃開催予定 ミニ商談会適宜開催予定）

元年度実績	かごしま取引商談会（1月29日） 参加企業（発注：36社、受注：62社）取引成立：10件
-------	---



《かごしま取引商談会》

◇新規事業◇

・モノづくり取引開拓出展支援事業 (旧 新規販路開拓支援事業)

大都市圏で開催される展示会において当センターがブースを確保し、出展を希望する県内中小企業に展示スペースを提供して、新規販路開拓を支援  
(機械要素技術展(東京)令和3年2月3日～5日開催、4小間8社の出展支援のほか、大阪等で出展支援)

元年度実績	機械要素技術展の東京(2月26日～28日)は3小間7社の出展を支援
-------	-----------------------------------

・モノづくり情報収集提供事業

受発注情報の収集提供や九州7県合同広域商談会の開催等により、県内中小企業の販路の拡大を支援

元年度実績	受発注企業訪問：358社、取引あっせん：295件、取引成立：73件 九州7県合同広域商談会の開催(11月27日)：本県参加受注企業：26社
-------	--

・下請かけこみ寺事業

中小企業の取引上の悩み相談の受付や移動弁護士相談会(県内4か所)の実施等

元年度実績	窓口相談：35件、無料弁護士相談：10件、移動弁護士相談会：4回開催
-------	------------------------------------

**6 情報化支援 6,971千円**

各種支援事業や企業経営に役立つ情報等の提供を行うとともに、専門家等の派遣による会員に対するIT化の促進や生産体制の向上を支援します。

・情報支援事業

インターネットやメールマガジン等による情報提供

元年度実績	地元新聞への中小企業経営情報掲載：36回、メールマガジン配信実績：54回
-------	--------------------------------------

・情報会員支援事業

会員企業に対して、経営に有益なIT関連情報誌の提供や、情報化人材育成のためのIT操作技術及び生産性向上を実現するIT導入の促進に係る講師派遣、ホームページ作成費用等助成など  
また、高次の生産管理手法を用いて、徹底したコストダウンを實踐できるような生産体制の向上を支援

元年度実績	情報誌「KISC」発行(5、8、11、2月) 情報化人材育成事業(社内パソコン研修・IT出前講座)：15社 ホームページ作成支援事業助成企業：8社
-------	---

**7 人材育成支援 3,000千円**

若手経営者等を対象にした人材育成塾の開催やカイゼンインストラクターによる企業訪問・社内ゼミ等を行うことにより、企業の人材育成を支援します。

◇新規事業◇

・ものづくり鹿児島リーダー塾事業

ものづくり企業の経営力向上等を図るため、若手経営者、後継者等を対象とした人材育成塾を開催

# わが社の輝く女性！

今号は、高い技術力で、半導体製造装置関係・医療機器関係・食品機器関係・産業機器関係の精密板金加工を行っている鹿児島ケース株式会社で、カスタマーサポート部に所属し営業を担当している大坪夏美さんです。

## 鹿児島ケース株式会社

所在地：日置市吹上町与倉4954  
藤元工業団地  
設立：1963年5月  
従業員数：51名  
事業内容：精密板金加工業  
TEL：099-245-1960  
FAX：099-245-1961  
URL：https://www.kcase.jp/  
E-mail：info@kcase.co.jp

## 大坪 夏美さん カスタマーサポート部

鹿児島県立吹上高等学校卒  
2014年入社  
趣味：カフェ巡り



### ◆会社紹介

弊社は、あらゆる分野の精密板金加工を行っております。

主な製品は、半導体製造装置関係・医療機器関係・食品機器関係・産業機器関係の精密板金部品です。「コンビニのおにぎり」「ポテトチップスの計量機」「お茶漬けのもの袋詰め」「大学病院の検査機器」などのメーカーへ部品を提供しております。

常に「高い技術力」「高い提案力」「スピーディーな対応」をもって社是に“信頼と実証”を掲げ、お客様に満足していただけるよう日々対応しております。



### ◆会社での現在の担当部署は

カスタマーサポート部として営業を担当しております。顧客訪問で県内をはじめ九州・中国地方・関東・関西へ訪問しお客様とより良い製品を作るための打ち合わせ、かごしま産業支援センターを通じて新規顧客開拓、社内では製品単価の見積・お客様窓口として笑顔で対応しております。

また、製造が忙しい時は出荷前の仕上げ梱包作業、装置・アセンブリの組込みなども行っております。



### ◆入社のかきかけは

高校の進路選択で迷っていた際に、担任の先生から弊社を紹介いただいたのがきっかけです。地元企業であること、さらに同じ高校の先輩方が多く入社していることで興味を持ちました。

実際に応募前企業見学に参加し、社員の方が生き生き

と働く姿や気さくに話しかけていただいたりなど雰囲気が良い、私もここで一緒に働きたいと思い応募いたしました。

### ◆仕事上での印象深い体験談など

自分が見積した案件の受注を頂いたことです。

毎回見積単価算出後、営業部長または営業課長に単価を確認していただき、承認後見積書を提出しています。見積した案件の受注が増えるほど自信もつき、少しずつですが自分自身の成長を感じます。

大手メーカーの大型物件の受注を頂いた際は、部品の組込みなどの現場作業も経験させていただきました。初めて使う工具や慣れない作業など多少時間がかかってしまいましたが、最後の出荷まで見届けることができても印象に残っています。

### ◆営業担当として心がけていることは

常に、お客様が何を求めているのかを考え仕事しております。営業は要望やお褒めの言葉・お叱りの言葉などお客様からの声を直接聞ける大切な場所です。ひとつひとつの言葉を真摯に受け止め、お客様の信頼を得ることを第一に、人と人との心をつなぐモノ作りを目指しています。

### ◆会社への思いや抱負について

会社に入社して6年、営業になって1年がたちました。営業になったばかりのころは自分にできるのか不安でいっぱいでした。加工の事でわからないことも多く、自分の知識や経験不足で行き詰ったり落ち込むこともありましたが、上司や現場の方にフォローしていただきながら日々仕事をこなしております。

これから先、成功も失敗もたくさんあると思いますがもっと経験を積んで、営業部長・営業課長のようにお客様から“鹿児島ケースの営業ウーマン”として認めていただけるように日々精進していきたいと思っています。



## ベンチャープラザコーナー

### 第78回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」

令和2年2月12日（水）鹿児島市で開催し、濱田酒造(株)、南九ハNZ合同会社、クルーシャル・クーリング・パフォーマンス(株)の県内の3社にそれぞれビジネスプランを発表していただきました。

100名を超える参加者は、発表に興味深く耳を傾けるとともに、質疑応答も活発で盛会となりました。（発表企業累計258社、うち県内企業196社）

※令和2年度も年3回開催します。発表を希望される企業の方は、お気軽にご相談ください。

#### ○発表その1 世界の蒸留酒「SHOCHU」へ

#### 本格焼酎「だいやめ」がIWSCで部門最高賞を受賞！

（濱田酒造株式会社）

#### 濱田酒造株式会社

代表取締役社長 濱田雄一郎  
いちき串木野市湊町4-1  
TEL：0996-36-5771  
FAX：0996-36-5772  
URL：https://www.hamadasyuzou.co.jp/



発表する  
濱田取締役

#### 《商品の特徴》

だいやめは、特に「香り」にこだわった商品です。ライチのような香りで、従来の本格芋焼酎のイメージを覆すような酒質に仕上げました。

ボトルもネオクラシックなデザインで、焼酎にあまり馴染みのないお客様でも飲んでみればきっと「これがホントに芋焼酎か!？」と、驚きと新しさを感じていただける焼酎だと思います。

是非皆さまにも一度お試しください。と思います。



#### 発表内容

##### 《企業紹介》

弊社は、明治元年創業の鹿児島県の総合酒類メーカーです。

本格焼酎を主軸に、現在はスピリッツ、ジン、リキュール等の開発にも力を入れ、日本の國酒たる“和酒”が秘めている価値の追求を行っています。

「本格焼酎を真の國酒へ、更には世界に冠たる酒へ」を全社員の合言葉に、本格焼酎が世界の蒸留酒となる日をめざして日々汗を流しています。



世界コンペ IWSC で部門最高賞を受賞した本格焼酎「だいやめ」

#### 発表後の成果・感想

発表は当事業を振り返る機会となり、皆様の各コメントからも「物事を客観的に俯瞰できること」の大切さを、今一度教えていただく貴重な経験となりました。

そのほか各発表者様の事業内容に、根拠ある創意工夫がなされている事を強く感じましたし、もっと一つの事業に対し、突き詰めて考え抜いていかなければならないと気付きをいただきました。

ベンチャー事業にあたる上での知見を得る機会をいただき、ありがとうございました。



伝統・革新・継承のスパイラルで焼酎文化を世界へ！

#### 《商品開発のきっかけ》

弊社150周年に際して、この節目にふさわしい、次世代の新しい本格焼酎を造ろうとの思いから開発をスタートさせました。

「これまでの感謝を飛躍の力に変えて、感動の一杯をお届けしていく。」これからの当社の決意をあらわした商品となりました。

商品の企画からお客様にお届けするまでを、全社員の心をつなげてチャレンジした弊社の期待の新人、それが本格芋焼酎「だいやめ～DAIYAME～」です。

#### 今後の展望

本格焼酎ジャンルの国内マーケットでのさらなる浸透、そして海外マーケットへも挑戦していく中、いろいろな角度から本格焼酎の持つ価値を追求した商品開発を行ってまいります。

例えば、若者が手に取りたくくなるような商品を、海外市場には現地のニーズにマッチした商品をと、顧客視点を意識することによってチャレンジャーの幅を広げ、広くお客様に喜んでいただける、心の拠り所としていただける本格焼酎メーカーを目指してまいります。

○発表その2 薬液希釈散水ノズル（ハイブリッドノズル）の販路拡大  
 いよいよ散水ノズルはハイブリッドノズル時代に

（南九ハンズ合同会社）

南九ハンズ合同会社

代表社員 花牟禮 博文  
 南さつま市加世田川畑11076  
 TEL : 0993-87-1036  
 URL : <https://www.hybridnozzle.com/>



発表する  
 花牟禮代表

薬液格納容器内の薬液を希釈混合しながら一定の濃度で連続的に散布できるものです。

これにより、広範囲の散布作業も散水ノズルと一体化した容器に薬液を補充するだけで、希釈、運搬、散布も反復作業をする必要がなくなり、同時に重量物を携帯しての散布も必要がなくなり、重労働であった薬液散布作業を大幅な時短化、省力化が実現できます。

また、水道水の高圧での散布ができることから散布対象物から遠い位置（約10m）からの散布、植木や壁面等、高所への散布作業（約8m）が可能になるという効果も実現できました。

発表内容

《企業紹介》

薬液希釈散水ノズルの開発を始めて2年、試作品を近所・知人に販売して高評価をいただく一方で実際に使用して「このようにしたらもっと便利につかえるのでは？」という貴重な意見を反映させ、その機能を製品に取入れ納得できる試作品が出来上がりました。

弊社は特許申請・審査請求を経て正式に特許登録されたことを機に部品調達や金型受注、資金調達等、商取引において法人化の必要性を感じ平成31年4月に設立いたしました。

今までの散布器具とハイブリッドノズルの比較

<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道で希釈作業を何回も繰り返す。</li> <li>・作業中も重量物を持ち運ぶ</li> <li>・散布対象に近づき一部の範囲に散布する。</li> <li>・噴射力が弱い。</li> <li>・高所散布では容器を持ち梯子や脚立で散布するので危険→踏み</li> <li>・既存商品で見慣れた外觀である。</li> </ul>	VS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続的に希釈散布できる</li> <li>・ノズルを持つだけで身軽で軽量</li> <li>・遠い位置から広範囲に散布できる。</li> <li>・噴射力が強力で作業効率がよい。</li> <li>・6m～8mの高所散布が可能</li> <li>・商品外觀が斬新で陳列で目を引く、手軽でスマートな作業が想像できる。</li> </ul>
---	----	--

希釈⇒運搬⇒散布の反復作業で長時間の重労働 → 薬液を補給するだけで作業の大幅な省力化・時短化を実現

薬液希釈散水ノズルとは  
 水道水の水圧だけで薬剤を任意の濃度で希釈散布できる画期的な散水ノズルです。

特許申請・審査請求済  
 平成31年1月11日 特許第 6459101号 特許取得済  
 令和1年11月 一般社団法人鹿児島県発明協会会長賞 受賞

Hybridnozzle

発表後の成果・感想

この度は多くの見識者の出席のなか薬液希釈散水ノズルのプレゼンテーションの機会を頂き感謝の念に堪えません。

有識者の方々の賞賛のコメント、激励のお言葉を頂きこの薬液希釈散水ノズルの可能性を再認識でき確信するに至り、是が非でも市場に送り出し不便を感じている方々のお役に立ちたいと思う次第です。

出席いただいた皆様のお助言、ご指導を今後の商品開発、事業展開に活かしていきたいと思っております。

《商品開発のきっかけ》

平成28年南さつま市に移住したのを機に、自宅周りの300㎡の除草剤散布の必要に駆られ多くの労力と時間を費やすことになりとても苦痛を感じていました。

これまで除草剤や害虫駆除剤などの希釈型の薬液を散布する場合は、薬液を噴霧器の容器やじょうろ等の付属の容器で希釈し携帯しながら散布作業をおこなうため、容量を多くすれば重量が重くなり、小さくすれば少しの範囲しか散布できないもので、希釈運搬・散布という反復作業が必要でした。

何とかこの不便さを解消できないかと試行錯誤して開発に着手したものです。

《商品の特徴》

本発明の薬液希釈散水ノズルは、水道水の水圧で

今後の展望

現行試作製品においては3Dプリンターにより部品製造を行っている部品があるため金型による部品製造を行う必要があります。

本年、鹿児島県トライアル発注制度へのお誘いを受けながら商品化の目途がついていなかったため辞退せざるを得ませんでした。来年度商品化できるように金型の部品製造を行う計画です。

同時に商品化を加速させるため、プラスチック製品製造のノウハウを持った法人や特許契約に基づき製品を製造していただけるパートナー企業も募集していきたいと思っております。

○発表その3 鹿児島発世界一技術 FGHP®用いた FGHP®ライト  
 鹿児島発世界一技術 FGHP®テクノロジーで省エネ型社会の実現に貢献  
 (クルーシャル・クーリング・パフォーマンス株式会社)

クルーシャル・クーリング・  
 パフォーマンス株式会社

代表取締役社長 水田 敬  
 鹿児島市武岡5-51-22  
 TEL : 090-7441-3721  
 FAX : 099-250-8556  
 URL : http://www.  
 crucialcoolingperformance.co.jp/



発表する  
 水田代表取締役

《商品の特徴》

鹿児島発世界一技術である FGHP®テクノロジーにより、LEDチップの超高密度実装が可能となり、これによって超高輝度化と大光量化を実現しました。

FGHP®光源によって、「光の密度」を高めることに成功し、少ないエネルギーで明るい光を発生することが可能となりました。

これにより、従来のLED照明と比べても高い省エネ性能を達成していることに加えて、従来のLED照明ではパワー不足によって適用が出来なかったような高輝度分野におきましても FGHP®ライトは御採用頂いており、LEDが本来持っている優れた性能を余すことなくご体感頂ける製品です。

発表内容

《企業紹介》

鹿児島大学発ベンチャー企業として2011年9月設立。クルーシャル・クーリング・パフォーマンスという社名は、直訳すると「決定的な冷却性機能」という意味です。

鹿児島発世界一技術である FGHP®をコアテクノロジーとしたLED照明の開発・販売を実施しており、大光量・省エネルギー型LED高天井照明や投光器などを「鹿児島県トライアル発注制度採択品」として 県立図書館や県庁舎、県立高校の体育館などに設置頂きました。

さらには、鹿児島相互信用金庫様や JX 喜入石油基地様への御採用など、一層の販売拡大を図っています。FGHP®テクノロジーの応用開発として、電子機器の高密度実装・小型・高性能化にともない深刻化する熱問題に対する最適熱設計支援や、生物の光刺激に対しLED光源を活用した特殊照明の開発・販売も進めています。

《商品開発のきっかけ》

現在、水銀灯からLED照明への置き換えが急速に進んでいますが、「LEDに替えるとかえって暗くなる」、「LEDに置き換えるとガラガラまぶしく、目が痛い」など、本来LEDが持つ優れた特性を引き出せていないLED照明も多いため、残念ながら、ユーザーの方々が必ずしもLED置き換えに満足されていないケースがあるという状況が散見されます。

弊社 FGHP®ライトは、FGHP®テクノロジーにより従来のLED照明が持っていたこの様な課題を解決する製品であり、ユーザーの皆様が「LED照明に置き換えて良かった」と、真に御満足頂けると考えています。

発表後の成果・感想

二水会で発表の機会を賜りましたことは、弊社に取りまして大変光栄なことでございます。

鹿児島発世界一技術である FGHP®テクノロジーがありながら、皆様方に知っていただくための弊社努力がまだまだ不足しておりますため、この様な優れた技術が鹿児島で生み出されたことを御存じない方がほとんどであると存じます。

今回、二水会での発表の機会を賜りましたことによりまして、皆様方に知って頂ける機会を頂戴出来ましたことは、弊社に取りましてかけがえのないことでございます。

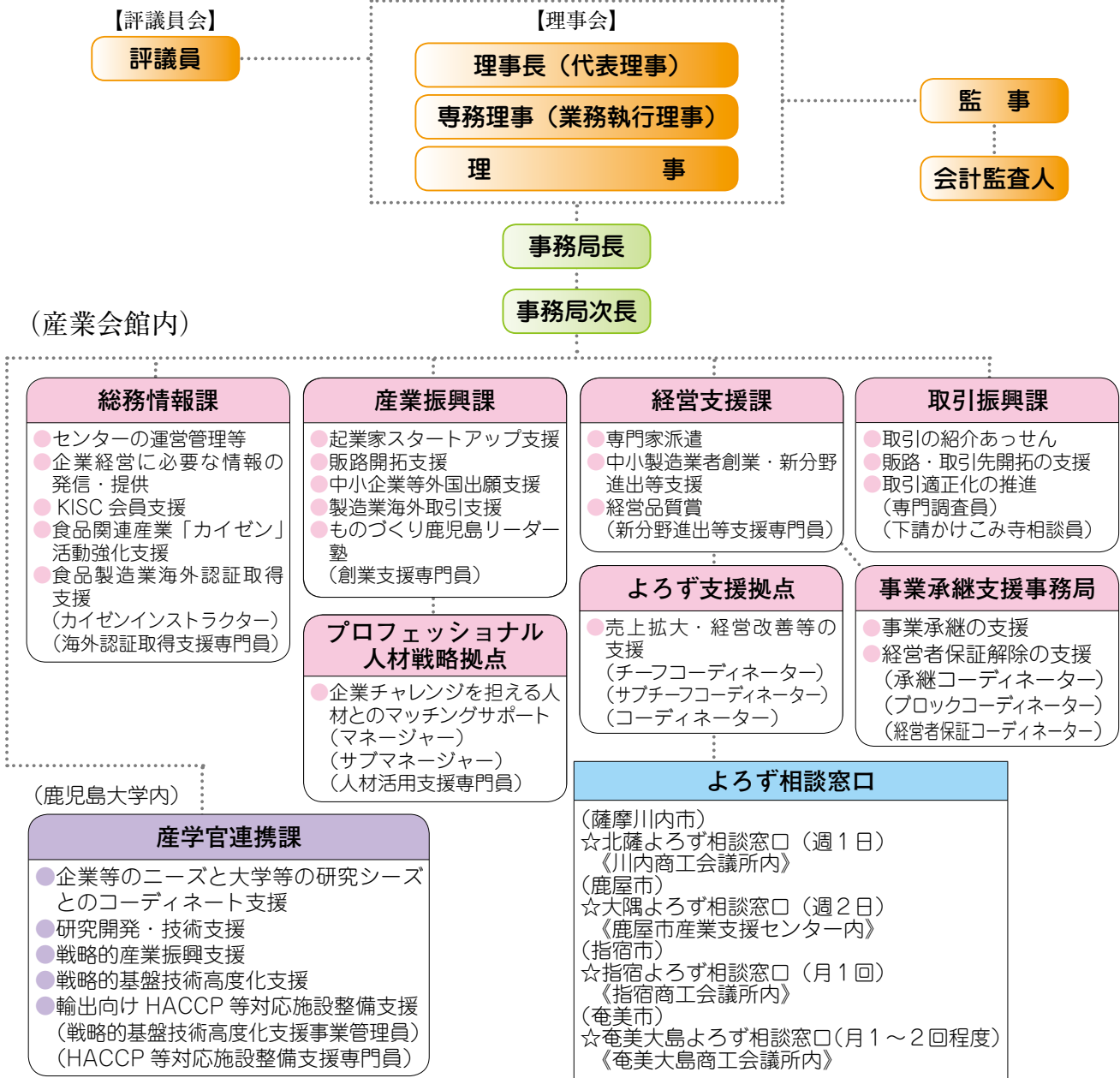
FGHP®テクノロジーは、地元鹿児島島の企業の方々や行政の方々をはじめ、国からも多大なるご支援を賜り実現された技術ですので、今後は、より一層の省エネ型社会を実現するための取り組みに対して貢献することによりまして、地元鹿児島へ恩返しをさせて頂きましたらと切に願っております。

今後の展望

1. FGHP®ライトの販売拡大を実現し、LEDが本来持っている省エネ性能の高さをより多くの御客様に実感頂けるようにしたい。
2. FGHP®ライトのラインナップを拡充し、これまで進出できていなかった分野においても、真の省エネ型LED照明の実現を通して貢献したい。
3. FGHP®テクノロジーそのものについてもさらなる高性能化を実現し、引き続き鹿児島発世界一技術として、半導体の熱問題解決に対して貢献したい。



(公財) かがしま産業支援センター組織・機構



**INFORMATION** TEL・FAX・メールアドレス

課名	TEL	FAX	メールアドレス
総務情報課 〃 (情報)	099-219-1271 099-219-1275	099-219-1279	setubi@kisc.or.jp info@kisc.or.jp
産業振興課	099-219-1272		ikusei@kisc.or.jp
経営支援課	099-219-1273		keiei@kisc.or.jp
取引振興課	099-219-1274		torihiki@kisc.or.jp
産学官連携課	099-214-4770	099-214-4771	sangaku@kisc.or.jp
よろず支援拠点	099-219-3740	099-223-7117	yorozu@kisc.or.jp
北薩よろず相談窓口 (川内商工会議所内)	(注) 相談予約はよろず支援拠点に御連絡ください。 TEL : 099-219-3740 FAX : 099-223-7117		(住所) 薩摩川内市神田町3-25
大隅よろず相談窓口 (鹿屋市産業支援センター内)			(住所) 鹿屋市北田町3番3-23号
指宿よろず相談窓口 (指宿商工会議所内)			(住所) 指宿市大牟礼1-15-13
奄美大島よろず相談窓口 (奄美大島商工会議所内)			(住所) 奄美市名瀬入船町12-16
プロフェッショナル人材戦略拠点			099-219-9277
事業承継支援事務局	099-219-8123	099-219-1279	syoukei@kisc.or.jp

《ご利用ください》

# 公益財団法人 産業雇用安定センター

人と企業を結ぶ出向・移籍等の

送出国業

お手伝いをしています

受入企業



- 人材育成や雇用調整などで「人材の送り出し」をされる時 ※離職前にご相談ください
- 事業の再構築を検討される時
- 定年退職予定の方が他企業への再就職を希望する時

- 事業の拡大や創業、増員・欠員補充など「人材の募集」をされる時、ご希望の人材を紹介します
- 雇用関係助成金の取り扱いもあります

- 47都道府県事務所の全国ネット・ハローワークなど他の機関との併用が可能です。マンツーマンで在職中から再就職までのお手伝いをします。(ご利用は無料です)
- 原則離職後6カ月以内での委託訓練や、各講習等の支援も行っています。
- 経験豊富な講師が、各種セミナー(有料)も行います。
- 系列・グループを超えた出向を通して雇用調整・キャリアアップ・人材育成・他社交流等のお手伝いをいたします。

お気軽にお問い合わせ・ご相談ください



公益財団法人  
産業雇用安定センター  
鹿児島事務所

〒890-0053 鹿児島市中央町26-18 南日本中央ビル4階  
電話 099-812-9551 FAX 099-258-9101  
<http://www.sangyokoyo.or.jp/>



ISO 審査

教育・研修

【品質】 【環境】 【安全】

## ISO 審査

- ・標準文書無料提供
- ・内部監査員無料研修
- ・県内審査員で交通費ほぼ0

自粛を乗り越え、頑張りましょう!!

ISO 審査代理店

### 南日本審査株式会社

〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田 3344-2  
TEL: 0995-64-5727 FAX: 0995-64-5078  
URL: <http://www.minami-sinsa.com> お気軽にご相談ください



公益財団法人 Kagoshima Industry Support Center

かごしま産業支援センター

〒892-0821

鹿児島市名山町9番1号(県産業会館2F)

TEL (099) 219-1270

FAX (099) 219-1279

E-mail: [kisc@kisc.or.jp](mailto:kisc@kisc.or.jp) <https://www.kisc.or.jp>